



12/14 佐川官兵衛ゆかりの地を訪ねて 佐川官兵衛顕彰会

西南戦争時、本村で戦死した会津藩士のゆかりの地を訪ねて、前会津若松市長の菅家一郎さんや、軍議が開かれた「長門屋」(吉田一) 出身の田浦芳孝さん(JR 東日本常務取締役)ら10人が村を訪れました。

この日は、本村の佐川官兵衛顕彰会(興梠二雄会長 吉田一) 会員15人が出迎え、「鬼官兵衛記念館」や、佐川官兵衛が戦死した黒川区の「西南の役公園」などを案内しました。

同会は、会津若松市が黒川区の石で、「佐川官兵衛顕彰碑」(同市鶴ヶ城三の丸跡)を建てたことから、平成14年に設立。全国には約120人の会員がいます。



前列右から菅家一郎さん(4番目)、興梠二雄さん(5番目)、田浦芳孝さん(6番目)と関係者の皆さん

11/23 阿蘇を詠んだ俳句 夫婦で受賞 藤本征男・淳子さん(吉田一)

熊本市総合体育館・青年会館で開催された第18回「草枕」国際俳句大会の当日投句部門(応募作品878句)で、吉田一区の藤本征男さんが特選(大岳水一路選)、妻の淳子さんがスポーツライフくまもと賞を受賞されました。

作品は、阿蘇の大自然の美しさや厳しさ、阿蘇山の堂々たる姿が詠まれており、お二人は受賞した喜びを、「阿蘇を詠んだ俳句が受賞でき、うれしく思います」と話されました。

豪雨禍の疵そのままに眠る山 藤本 征男
神の声めきて阿蘇野の虎落笛 藤本 淳子



笑顔で賞状を手にする藤本征男さんと淳子さん

12/14・15 山ガールたちが集結 「山ガール・サミット in みなみあそ」開催

村観光PR事業実行委員会が主催する「山ガール・サミット in みなみあそ」が、あそ望の郷を拠点に2日にわたり開催され、県内外の女性登山愛好者延べ200人が参加しました。

14日は、村生活研究グループ15人による、のっぺ汁やぜんざい、おにぎり、あか牛のバーベキューなどが振る舞われました。村の食材を生かしたごちそうに、参加者たちからは「おいしい」「あか牛最高」などの歓声が沸き上がりました。

15日は、当日参加者もあり160人が参加。午前中は、トレッキングや、フォト講座、ダッチオープン教室など10コースの体験を、参加者たちは各々楽しみました。

午後は、女性向けのアウトドア雑誌「ランドネ」が、山ごはんレシピを紹介。チーズや野菜などを使って、チーズフォンデュの作り方を紹介しました。山ガールファッションショーでは、参加者たちが自前の衣装を披露。帽子から靴まで色とりどりの個性あふれるコーディネートを披露すると観客席からは「かわいい」という声も。イベント終盤では、タレントの斉藤ふみさんと、読者モデルの工藤真悠子さんをゲストに迎えて、トークショーが行われ盛り上がりを見せました。



多くの山ガールたちが参加(開会式)



烏帽子登山を楽しむ参加者



村生活研究グループの振る舞いに盛り上がる交流会



参加者の山ガールファッション(左)を審査する審査員



プロのカメラマンが指導するフォト講座

12/19 おいしいお餅になあれ

中松小学校で餅つき

中松小学校の児童5、6年生36人が、校区内の住民で構成する米作り実行委員、民生委員、保護者など地域の方々の協力を得て、餅つきを行いました。

餅つきは、昨年児童たちが栽培収穫したもち米で実施。地域の方々の手ほどきを受けながら手際よく丸められた白餅と赤飯が作られ、日ごろお世話になっている人や、一人暮らしのお年寄り約50世帯に配られました。

5年生の山戸一世くんは、「杵を使った餅つきは難しかった。おいしく食べてくれたらいいな」と話していました。



手際よく餅を丸める児童たちと地域の皆さん

12/15 南阿蘇村チーム2連覇

第37回阿蘇郡市町村対抗駅伝大会

第37回阿蘇郡市町村対抗駅伝大会が開催され、本村チームが2連覇を果たしました。

大会は、阿蘇市役所をスタートし、高森町役場をゴールとする14区間45.8kmのコースで、南阿蘇村、阿蘇市(2チーム)、南小国町、高森町(2チーム)、西原村の7チームが出場しました。本村チームは、2時間34分57秒で優勝。7つの区間で区間賞を獲得し、最優秀選手に甲斐彩華さん(第一駐在)が選ばれました。

監督の古澤國助さんは、「2連覇できたのも、応援してくださった皆さんのおかげです。来年も優勝目指して頑張ります」と意気込みを話されました。



2連覇を果たした南阿蘇村チーム

1/9 15人の新規就農者誕生

第2期農業研修生修了式・新規就農者激励会

村農業研修生受入協議会(大津栄視会長)の第2期農業研修生修了式と、新規就農者激励会が久木野庁舎で開催されました。

研修を終えたのは2人。平成24年7月から平成25年12月までの1年半にわたり、講習会や3軒の受入農家のもとで、トマトやイチゴ栽培などに取り組みました。

激励会には、新規就農者15人のうち10人が出席。研修を終え、新規就農者として第一歩を踏み出した屯勇人さん(第七駐在)は、「小さな困難も前向きに乗り越え楽しく頑張っていきたい」と抱負を述べられました。



激励会に出席した新規就農者の皆さん

12/20 100歳おめでとうございます

久保田芳子さん(喜多)

12月21日で100歳の誕生日を迎えられた久保田芳子さん(喜多)のお祝いが特別養護老人ホーム陽ノ丘荘で行われ、市原副村長から寿詞と記念品が手渡されました。

芳子さんは、大正2年生まれ。若いころから好き嫌いや病気もなく、働きものだったそうです。

親族の久保田シズ子さんは、「100歳を迎えることができ、本人もとても喜んでいました。ありがとうございました」と喜びのあいさつをされました。



100歳を迎えられた久保田芳子さん(中央)と親族の皆さん